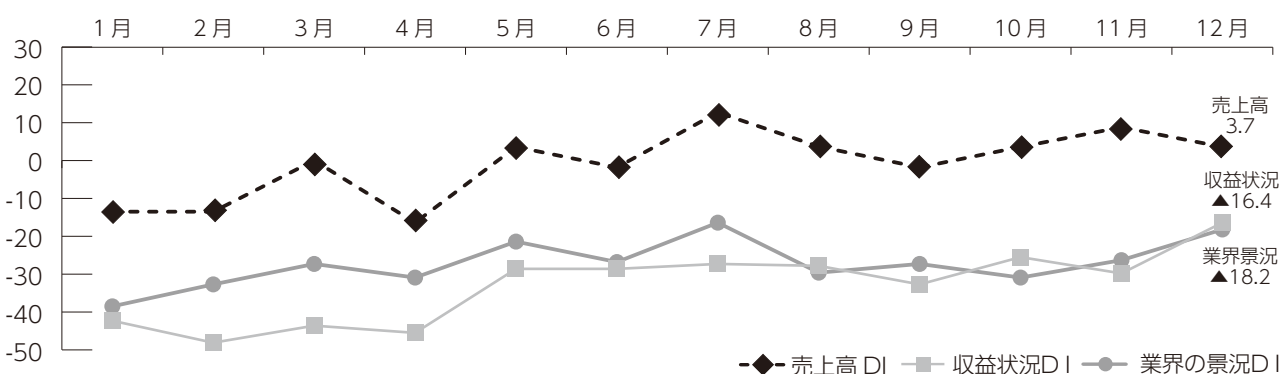


暖冬が年末需要に影響を与える

概況

暖冬の後押しもあり人の動きが活発となり、温泉旅館や商店街では賑わいがみられた。一方、消費者向けの商品を取り扱う業種は、季節商品の売れ行き低迷がみられる。また、多くの業種で物価高騰に伴う消費マインドの冷え込みを懸念する他、深刻な人手不足と人件費の高騰、さらに原材料・資材価格の高止まり等、様々な経営課題を抱えている。

主要DIの推移（全体）



景況天気図（前年同月比）

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
全業種平均	☁	☁	☀	☁	☁☔	☁☔	☁	☁	☁☔
製造業	食料品	☀	☁☔	☀	☀	☁	☀	☁☔	☁☔
	繊維製品	☁☔	☁	☁☔	☁☔	☁	☁☔	☁	☁
	窯業・土石	☁☔	☁	☀	☁	☔☔☔	☔☔☔	☔☔☔	☔☔☔
	機械・金属	☁	☁☔	☁☔	☁☔	☔☔☔	☁☔	☁☔	☁☔
	その他	☁	☁	☁☔	☁	☁	☔☔☔	☁☔	☔☔☔
非製造業	卸売業	☁	☁	☀	☁☔	☁	—	☁	☁
	小売業	☁☔	☁	☁☔	☁☔	☁	—	☁	☁
	商店街	☁☔	☁	☀	☁☔	☔☔☔	☔☔☔	—	☁☔
	サービス業	☁☔	—	☁☔	☁☔	☁	—	☁☔	☁☔
	建設業	☁☔	—	☁	☁	☁☔	☁	—	☁☔
	運輸業	☁	—	☀	☁☔	☁☔	☔☔☔	—	☁☔



天気図は、各景況項目について調査月と前年同月を比較して、DI値を基に判断したものです。
 DI値 = (増加・好転) - (減少・悪化) ÷ 回答数

コメント掲示板

《製造業》

食 料 品	<p>[パン] ロシアのウクライナ侵攻の影響で、小麦粉や卵の価格が高騰しており、今後も上昇が続くことを不安視。</p> <p>[菓子] 人の動きは戻りつつあり、年末通りの忙しさが感じられ、売上は増加した。</p> <p>[めん類] 年末の荷動きは若干良かったものの、原材料・資材価格、人件費が高騰しており、厳しい状況にある。</p> <p>[清酒] 全体的に売上は増加した。特に純米酒が好調であった。</p>
織 維 製 品	<p>[織物] ゆかた関連商品は、祭り等の再開により商品が動き出したため回復を期待するも、来夏の受注は思うように伸びていない。</p> <p>[インテリア関連] コロナ禍に高まったインテリア需要の反動減もあってか、年末のカーテンの掛け替え需要は伸びず売上は減少した。</p>
窯業・土石	<p>[生コンクリート] 出荷量は、大手メーカーの改修工事のある東毛地域と民間工事の多い吾妻地域が好調であり、渋川地域も微増した。一方、出荷量の多くを占める中央地域をはじめ、その他の地域は低調で、全体としては前年同水準であった。</p> <p>[碎石] 公共事業量の低調が続く、今年度の出荷量は前年比で12%落ち込む。新年度の価格改定に向けて取り組む方針。</p>
機 械 ・ 金 属	<p>[電機] 人の動きが活発化しインフラ需要が高まったことに加え、部品不足の解消によりインフラ関連は更なる伸びが期待できるも、職人の不足が懸念材料となる。</p> <p>[自動車関連] SUBARUを含め自動車業界は好転し、2次・3次下請企業にも波及が感じられ、コロナ流行前水準に戻りつつある。一方で、ダイハツの生産停止の影響を受ける企業もみられ、今後の動向が懸念される。</p>
そ の 他	<p>[家具] 低価格帯の商品は受注が回復している一方、高価格帯は前年水準に至っていない。全体的な業況回復には時間を要すると考えている。</p> <p>[紙製品] 取引先業界に活発な動きがみられ始め、受注数量は増加傾向にあり、収益は改善しつつある。しかし、物価高騰による買い控えの影響を不安視している。</p>

《非製造業》

卸 売 業	<p>[タイヤ] 天然ゴム・合成ゴムの値上げに伴う原材料価格及びその他経費の上昇により、販売価格を改定した。自動車生産台数は上昇しているものの、物価高騰により消費マインドが冷え込んでおり、売上は前年並みで推移した。</p> <p>[食料品] 円高傾向となり海外からの仕入コストは下がりつつあるも、人件費及び物流コストは上昇している。</p>
小 売 業	<p>[家電] 暖冬の影響で冬物家電の動きは良くない。防犯カメラやドアホンの需要高が続く。</p> <p>[石油] ガソリン・軽油の売上は前年並みに推移するも、暖冬により灯油の売上が減少。</p> <p>[生花] 暖冬で季節感を感じづらい影響もあってか、シクラメンや洋蘭等の引き合いに弱さがみられた。クリスマスは店舗間で繁閑が二極化する中、若年層の花離れを不安視。</p>
商 店 街	<p>[前橋市] 歳末売り出しは天気に恵まれ、前年を大きく上回り盛況となった。一方で、年末に休業する店舗もみられ、年末らしさが失われつつある。</p> <p>[高崎市] 飲食店を中心に駅周辺ではコロナ禍前以上の賑わいがみられる。</p> <p>[沼田市] 11月、郊外に大型商業施設がオープンし、来街者数や売上の減少を招いている。</p>
サ ー ビ ス 業	<p>[伊香保温泉] 暖冬の影響もあり、平日であっても賑わいがみられ、特に年末には多くの家族連れが訪れた。コロナ流行前のような団体での忘年会は実施されていないものの、個人客等で客室稼働率は上昇している。また、人手不足が大きな問題となっている。</p> <p>[不動産取引] 不動産市況は、年末にかけて価格低迷と在庫増加の傾向が続く。賃貸については、年度末にかけて活発化が予想されており、核家族化の進行と単身世帯の増加もプラス要因に働いている。</p>
建 設 業	<p>[建設工事] 除雪機を維持することが困難になる企業が増加。また、除雪や災害時の自主待機の費用が大きな負担となっている。</p> <p>[電気工事] コロナの5類移行により一斉に工事が動き出したことや、再開発や大規模建設で電線類を多量に使用したため、供給が間に合わず業務に支障をきたしている。また、銅単価の上昇に伴う電線価格の高騰が収益の悪化を招いている。</p> <p>[塗装工事] 雹害の保険対応工事等で受注量は増加するも、低単価のため売上は伸び悩む。</p>
運 輸 業	<p>[一般貨物運送] 年末は長距離を中心に忙しく、ドライバー不足が際立った。また、トラックの新車価格の上昇と納期の長期化や修理費用の上昇が経営の圧迫要因となっている。</p>

※本調査は、情報連絡員57人の報告を取りまとめ、その概要を示したものです。